



アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル 愛南町出身の kiku さんがつづるふるさとエッセイ

## — あいなん音故地新 —

### 成功

みなさんにとっての『成功』はなんですか？

私は鍼灸師ということもあって、昔の中国の書物を読むことが多い。昔の書物ってカッコよく言うけど、実際は昔の書物をわかりやすく書き直した現代の本やけど。内容は主に中国医学でそこには必ずと言っていいほど"養生"のことが記されとる。養生は簡単に言うと"体も心も健康に過ごしましょう"ということ。そして、同じ頃の書物には『成功』とは"健康で生涯を終える"ということ、と書かれとる。お金でもなく地位でもなく『健康』。これは何よりも大切に、誰にも奪うことのできん財産。そしてこれは誰でも手に入れることができるし、どんなにお金や地位があっても手に入れん時もある。

少し前まで自分の考える『成功』がいろいろな方向にひっぱられて、心と体が千切れそうで、生きとるけど生きとらんような、苦しい日々を送った。なんか違う、こっちじゃない。って方向修正ができたとき、心がすごく軽くなった。そのきっかけをくれた出会いがあったんよね。とても素敵な出会い。その話は次の機会に。

(テノヒラkiku)



御荘文化センター図書室より

## “5月の新着図書ピックアップ”の紹介

### 【アニメ絵本】

『君たちはどう生きるか』

宮崎 駿 (原作・脚本・監督)

徳間書店 (発行)

宮崎駿監督が、少年時代に母から手渡された小説『君たちはどう生きるか』(吉野源三郎著)からタイトルを借り、制作した長編映画のアニメ絵本。母を亡くし、父と共に「青鷺屋敷」という大きな屋敷に引っ越してきた少年真人(まひと)。屋敷の主だった大伯父が姿を消した不思議な塔に迷い込む。



### 【小説】

『よき時を思う』

宮本 輝 (著)

集英社 (発行)

九十歳の記念に祖母が計画した豪華絢爛な晩餐会。東京・武蔵野の土地に忽然と現れた中国の伝統的家屋建築「四合院(しごういん)」を要に、金井家やその周辺の人たちの物語が語られる。祖母はなぜ九十歳の記念に晩餐会を開くことにしたのか?そして、タイトルにつけられた"よき時"とは?



御荘文化センター図書室では、毎月「御荘文化センター図書室だより」を発行しています。

図書室だよりを通じてピックアップ図書以外の新着図書情報やそのほか新しい情報を皆さまに発信しています。町のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



愛南町  
ホームページ